

松島町教育委員会会議事録（令和5年12月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和5年12月22日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員（教育長職務代理者）、佐藤晴子委員、小澤晴司委員、櫻井智恵委員
- 4 説明のため出席した者
千葉忠弘教育次長、蜂谷文也課長、岸淳一学校教育班長、齋藤幹雄生涯学習班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、三品隆教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
 1. 開会 令和5年12月22日（金曜日）午前9時30分 開会（録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 鈴木委員・櫻井委員
 4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 - (3) 令和5年第4回松島町議会定例会について
 5. 協議事項
 - (1) 令和6年1月定例会について
日程案：令和6年1月26日（金）午前9時30分 松島町役場3階 301会議室
 6. その他
 7. 閉会

6 議 事 録

1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕これから松島町教育委員会令和5年12月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕皆さんおはようございます。（「おはようございます」の声あり）

いよいよもう少しで次の年になるということで、子どもたちのほうは大きな事故ありませんでした。ただ、コロナやインフルエンザ、それからプール熱、そういうものに振り回されて学級閉鎖になったところはあるのですが、今日、終業式、各幼稚園、小学校、中学校、全ての学校で行われております。そういうインフルエンザ、コロナはありましたが、大きな事故がなかったということ、本当によかったなと思います。

あと2学期の反省点を次年度に向けてやるようお話はしております。今日もどうぞよろしくお願いします。（「よろしくお願いします」の声あり）

〔金津主査〕ありがとうございました。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、11月定例会議事録について、配布している資料のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

では、定例会終了後に署名をお願いいたします。

3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は、鈴木委員と櫻井委員を指名いたします。よろしくをお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告

〔金津主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 一般事務報告について、学校教育班からお願いします。

〔岸班長〕それでは学校教育班の行事報告からご説明いたします。

資料1ページになります。

主なものについて説明いたします。

12月2日、各幼稚園で生活発表会が行われております。舞台では緊張しながらも一生懸命演技を披露しております。各幼稚園のホームページにおいてその様子が載っておりますので、ご覧いただければと思います。

12月6日、小中交流ふれあいタイムとして、町内の小学6年生が松島中学校を訪れまして、生徒会から学校行事や学校生活について説明を受けたり、授業参観をして来年度からの中学校生活の雰囲気を感じました。

12月7日から11日にかけて12月定例議会が開催されております。教育委員会関係分につきましては、この後の(3)議会報告で説明させていただきます。

続いて、12月15日、子ども版タウンミーティングが第五小学校で開催されております。本日、追加資料として、ワークショップ、タウンミーティングを行っている写真と、2ページ以降に小学生が作成した資料を添付しております。

こちらにつきまして、まず初めにワークショップ風景にあるように、事前学習として町の長期総合計画の概要の説明を受けた後に、松島のよいところ、よくしたいところ、よくするにはということで、みんなで意見を出し合い、クラスで発表を行っております。そして、こちらを基に、「つくろう新しい松島を」として、将来のまちづくりについて町長に提案、発表しております。

今年度につきましては、ただ事業提案をするのではなく、未来のまちづくりについて、まず自分たちでキャッチフレーズをつけて、それに向けての目標や具体的な提案を考えてもらっております。

追加資料を1枚めくっていただきまして、例えばこちらA班のものになるんですけども、A班ですと「町民全員が幸せな町」ということでキャッチフレーズをつかまして、全員が幸せな町になるために、目標を「子どもも楽しめるまちづくり」「観光地以外の地域も活気あるまちづくり」「バリアフリーに力を入れたまちづくり」としました。それに向けて具体的な提案を考えて、空き家を子ども向けの施設、図書館や交流ひろばに改修することや、自然を生かしたミニ花山ということで自然の家のような施設を造る、「観光地以外の地域も活気あるまちづくり」として、四大観光ツアーなどの開催を提案しておりました。また、ほかの班につきましても、「町民が楽し

める町」とか「清潔で安心できる町」という目標を掲げて、具体的にミッションゲームを開催したらどうかということで、町内巡りと清掃活動、そして歩くことにより健康づくりを一体的に行えるイベントなどを考えて町長に提案しておりました。

町長からは、いろいろな提案を受けまして少しでも取り入れていきたいというような話や、今回松島のことにいろいろ調べたと思うが、実際、松島の観光地であったり自然豊かなところに、写真とかインターネットで調べるだけではなくて、実際そこに行って体験してほしいとか、写真だと晴れた日しか載っていないので、雨の日とか雪の日の違った景色を自分たちの目で見て、松島のことをもっと考えてほしいというような話をしておりました。

それでは、行事報告を続けます。

12月21日、臨時議会・全員協議会が開催されております。国の補正予算成立に伴う物価高騰対応支援事業に係る補正について協議されております。こちらについては教育委員会関係分はありませんでした。

それから、本日、先ほど教育長からもお話がありました。各小中学校、幼稚園で第2学期の終業式が行われております。

行事報告については以上となります。

続いて、行事予定です。

資料2ページをご覧ください。

主なものについて説明いたします。

1月4日、幼保合同研修会を予定しております。幼児教育の向上を目指しまして、幼稚園と保育所、それから今年度は認定こども園の先生方を対象に実施することとなっております。

1月9日、各小中学校、幼稚園で第3学期の始業式を予定しております。

1月22日月曜日、宮城県市町村教育委員・教育長研修会がホテル白萩で開催されます。出席される委員の皆様はよろしくお願いたします。

それから、1月25、26日にタウンミーティングが、第二小学校、第一小学校でそれぞれ開催される予定となっております。

学校教育班からは以上となります。

〔金津主査〕 続きまして、学校給食センターからお願いします。

〔熊谷所長〕 それでは行事報告の前に、食材の提供について1点ご報告させていただきます。

岩手県産のナンプコムギの粒に赤カビが基準値を超えて検出された問題で、本町におきましても、納品業者からの報告によりまして、11月13日に幼稚園と小学校の給食で当該小麦が原料となっている冷凍すいとんを使用したはっと汁を提供していたことが確認されました。当日、小学校1校は振替休日で給食提供はありませんでした。納品業者からは、分析を行った結果、健康被害になる可能性は極めて低い使用量との報告があり、各幼稚園、小学校でも当日と後日の健康被害に関しては確認されませんでした。

教育委員会としての対応は、保護者宛てに当該小麦を使用しない献立への変更のお知らせと、対象小麦の食材使用についてのお知らせを12月6日と8日付で配布いたしました。その後、15日になりまして、納品業者より対象の冷凍すいとんを専門機関で検査した結果が出まして、11月に使用したものからは赤カビは検出されなかったとの報告がございました。引き続き、食材納品業者との製品確認などの連絡を密に行いながら、学校給食に使用する食材の安全性の確保につなげていきたいと思っております。

資料3ページに戻りまして、学校給食センターの行事報告をさせていただきます。

12月15日に松島第五小学校の1年生と保護者で給食試食会が行われました。21日、昨日ですが、第2学期最後の給食提供日でありまして、セレクトデザートとしまして、米粉のガトーショコラ、チーズタルト、いちごゼリーを提供いたしました。

続きまして、行事予定ですが、1月9日に第五小学校と中学校、10日に第一、第五幼稚園、第一小学校、第二小学校が第3学期の給食提供再開となっております。

記載はございませんが、1月24日に第2回学校給食担当者会議を役場3階で実施する予定となっております。

以上となります。

〔金津主査〕 では、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

本日まで大きな事故がなかったということで、教育長先生、そして千葉次長はじめ教育委員会の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございます。

一小でも放送で終業式を行っているということで、まさに臨機応変に対応していただいている

というふうに感じています。

3点、感想をお話しさせていただいて、1点、質問をさせていただきます。

1点目は、児童生徒のふれあい交流ということで、松中で6年生が参加したということがございましたが、こちらはやはり中1ギャップの解消にもなりますし、非常に意味があることだなというふうに感じております。

あと、二小で、利府支援学校の居住地交流というものもホームページに載っております、学校が同じではなくても地域にこういう子がいるといったお互いを知り合う機会になるかなと、これも意味のあることだなと思います。

それから、2点目ですけれども、タウンミーティングのことについてです。

松島のよさを発見したり課題というのを感じて、ある意味よい機会になったなと思います。こちらのほうは、子どもたちの将来にもつながることでありまして、まず今の松島がどうなのか、そして今後どうなっていくのか、どうしたいのかというところの提案にもなっていると思えました。そして、ICTも適宜活用して発表したことが学習内容に生かされていると思えました。

3点目です。

ホームページを見ますと子どもたちの様子がよく分かります。そこから、笑顔だったり、特に松中のホームページではもう真剣に授業に臨んでいる姿が見られまして、とてもうれしく感じたところです。

まず全員が真剣になっているのかというところが、1人の子どもも見捨てることなくということで、生徒指導提要にも示されているところがございますので、そのあたりをこれからも大切にしていきたいと思えました。

では、質問をさせていただきます。

タウンミーティングについてです。

こちらのほうはいつ頃からスタートして、意図としてはどのようなところから始めたのかというところを伺いたいんですけれども、よろしく願いいたします。

内海教育長

タウンミーティングはおととしからスタートしています。ただ町長としゃべるといのでなく、長期総合計画の概要版とかを事前に子どもたちに勉強させて、松島の今後の将来について考えた後、町長と話し合うというスタンスを取ります。ですから、限られた子が議会に行って模擬の形でやるというようなところはございません。学校に町長が来るといこと自体、学校にとっては特別です。町長が学校に来て子どもたちとやり取りするなんていうのは、まず今までなかったことです。そうやって子どもたちが考えたことを町長が真摯に受け止めていただいて回答するという形になります。

タブレットの使い方も上手になって、子どもたちが作ったものを町長にお見せしてPRすると。こういうほうがいいんじゃないですかと、よく考えて町長にアピールしているなと思っております。これはなかなかすごいことです。さっきも言ったように、限られた子だけが行って何とかするという話ではなくて、全員が協力してパワーポイントを使って町長とやり取りをします。非常に子どもたちにとっても今後の将来に向けて松島がどうあるべきか考えさせる機会にもなりますし、そういう発想もするんだとか思いながら子どもたちの提案を聞いています。あと何年かやって終わりではなくて、ずっと続けていただきたいなと思っているところです。

以上です。

佐藤委員

ありがとうございます。やはり子どもたちにとっては特別ななと思います。実際に町長にお会いして、ICTの活用をしながら、こういった授業の延長上で探究心がより目覚めたり、子どもの主体性が図られたり、とても意味のある授業だなというふうに思います。

内海教育長

教室の壁に掛かっていた国語の教科書の1文を見ると、豊かなまちづくりとか、国語で学習した延長上にも位置するものなんですね。ですから、そういう意味では、国語で習ったこともいろいろ参考にしながら町長に意見を述べていくという形になっております。これは本当にいいなと思って見ていました。

以上です。

佐藤委員

ありがとうございました。

鈴木委員

子どもたちが町の未来を考える場の提供、これはとてもいいですね。今、国語の延長だとありましたけれども、ただ習うのでなく、ぜひ継続してもらいたいと思います。

少しお伺いしたかったんですけども、冒頭、教育長から、今年、子どもたち事故もなくということで、よかったなと思います。ただ、先ほど、インフルエンザで学級閉鎖という話がありましたが、近隣市町村に比べて多いのか、平均的なのか。また、そういったものへの対応として例えば子どもたちの手洗いの励行とか、教育委員会として何かやられているのか。

もう一つお伺いしたいのがマスクの取扱い。現時点でどういうふうを考えるかということをお聞かせ願いたいです。

内海教育長

まず、他市町村のインフルエンザについて、二市三町教育長会議をやっていると、松島町はこの時期に流行したけど、1、2週前は、多賀城、塩竈で蔓延していたそうです。繰り返し学級閉鎖をした学校もあったということで、流行らないでほしいと思っていたら今回来ました。やはり、土日がピークなのかなと思っています。それから、プール熱というと、普通、夏場が主なんですけれども、子どもたち細菌に弱くなったのかどうか分かりませんが、そういうものも季節外れのときにやってくるということでした。インフルではないんですけども、喉が痛くなったりというようなこともあります。

それで、マスクの取扱いなんですけれども、5類に下がったあたりからマスクは個人の自由ということになっています。ですから、マスクをつけている子も、最初、5類になってしばらくの間、なかなかマスクを外さない子が多かったです。この頃は外すようになったんですけども、インフルエンザが蔓延したときにマスクを着用したほうが良いのではないかというようなことを校長会で話しました。基本的なこととして、手洗い、うがい、それからマスク着用と、あとインフルエンザの場合、換気も必要なので、定期的な換気もお願いしますということで対応しています。親御さんがかかって、一家でかかる形になることが多かったです。

鈴木委員

近隣市町村よりは比較的少ないと。ぜひこういう対応を続けていただきたいです。

〔金津主査〕それでは続けさせていただきます。生涯学習班からお願いします。

〔齋藤班長〕それでは、生涯学習班の行事報告と行事予定について説明させていただきます。

資料は4ページをお開き願います。

上段のまずは行事報告について、主な行事を説明いたします。

11月26日日曜日に、第43回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）が文化観光交流館前をスタート地点として開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、またコロナウイルスによる応援制限も解除されたことから大変盛り上がった大会となりました。

なお、町内のコース、3.5キロメートルに関しましては、沿道ボランティア68名の方のご協力により、無事にランナーは走り抜けていきました。

次に、翌日27日ですけれども、クイーンズ駅伝大会参加チームのニトリが松島第二小学校を訪問し、6年生21名対象にふれあい陸上教室を開催していただきました。選手によるランニングフォームの指導や、選手との鬼ごっこなどを開催し、児童たちはもとより選手たちも貴重な体験になったということで、最後は名残惜しそうにお別れをしていました。

次に、12月5日になります。今年最後の松島まるごと学の授業として、第一小学校4年生が品井沼干拓学習を行っております。

続きまして、行事予定に移らせていただきます。

行事予定のほうにつきましては、来週12月28日から生涯学習班所管の3施設、松島運動公園、温水プール、B&G海洋センターが年末年始の休みとなり、年明け1月4日まで休館・休園となります。

次に、1月14日日曜日に文化観光交流館を会場として、こども落語体験・落語会が開催されます。こども落語体験は小中学生25組50名を対象に、第2部の落語会は募集人数を設けておりませんが、無料で観覧することができます。宣伝になりますが、お手元の落語のチラシを見ていただきたいんですけども、この落語会について、まだ席のほうに十分に余裕があります。ぜひご家族、ご友人の方をお誘いの上、参加を検討していただければありがたいと思います。

生涯学習班からは以上となります。

〔金津主査〕続きまして、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕町史編さん室の資料は5ページです。

11月28日と12月19日に歴史体験ボランティア育成事業を開催しました。こちらに関しては、8名ほどのボランティアが登録していただいております、その様子は毎週、町の公式フェイスブックに町史編さん通信ということ

で配信しているんですが、来週月曜日にこの体験ボランティアの様子を配信を予定しております。今は古文書の、古い本とか絵はがきなどの調書作業をやっていただいております。

続きまして、12月8日、無形民俗文化財研究協議会ということで、東京文化財研究所で開催されたものなんですが、たまたま公民館のほうから分館長の移動研修会の資料をつけていただいている、その左上のほうに民俗資料の写真があると思いますが、こういった資料が今この自治体でも収蔵庫がいっぱいで困っているということが話題になっていまして、その研究協議会も全国から文化財担当者が集まって、200人以上集まったので、会場に入り切れなくて、ロビーでディスプレイで見ている参加者がいたぐらい関心の高い話題となっております。

続きまして行事予定ですが、この期間については大きな行事予定はありません。

以上です。

〔金津主査〕続きまして、中央公民館からお願いいたします。

〔赤間館長〕資料のほうは6ページになります。

中央公民館・文化観光交流館・勤労青少年ホームの行事報告でございますが、記載のとおりとなっております。

なお、本日、資料として追加で提出しております分館長会移動研修会についてはこちらの資料をご覧くださいと思います。

次に、行事予定となりますが、1月7日、第75回松島町成人式（二十歳を祝う会）が文化観光交流館で開催されます。教育委員の皆様の方にもご案内をお出ししておりますが、ぜひ出席よろしくお願ひします。

その他につきましては記載のとおりとなっております。

以上です。

〔金津主査〕それでは、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館等の報告について、ご質問等ございますでしょうか。

（質疑）

佐藤委員

生涯学習班のほうに質問させていただきます。

12月5日にありました松島まるごと学なんですけれども、こちらの子どもの様子等で何か情報をお持ちでありましたらお教えいただきたいと思ひます。

齋藤班長

12月5日に最後のまるごと学ということもあつたんですけれども、こちらは一小の4年生で品井沼のほうだったのですが、大分昔の歴史の物とかを見ながら、興味を持って体験学習を参加しているなという感じは受けました。町職員の学芸員もついて説明を行っています。

佐藤委員

やはり、専門的にご存じの方いろいろ教えていただくことで、子どもたちの知識が広がりますし、そのときはすぐ理解できなくても、後で、あっ、そうだったのだなというふうになり起こす機会にもなりますので、ぜひまるごと学、すばらしいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

（2）教育長報告

〔金津主査〕続けさせていただきます。

続きまして、（2）教育長報告について、内海教育長お願ひいたします。

〔内海教育長〕

過日、教育委員さんではないんですけれども、教育委員会の私の指示ってどんなのをやっているんですかというように言われて、今日出してみました。

町内の教頭会のほうにも、教育委員会としては授業ということに何回も特化しながら言っております。

そして、（2）は凡事徹底と。ひたすら新しいことに挑戦しなくてもいいから目の前の子どもたちが楽しむ授業を展開してくださいということで、課題はどのくらい提示しているか、きちんとやっているか確認するよう伝えてあります。

それから、枠で囲んだところの中央。「授業の良し悪しは（誰）に聞け」は、先生ではなくて子ども自身に聞いてくださいと。子どもはしっかり見ていて「先生の言葉、早過ぎた」とか「説明がよく分からなかった」ということで、子どもに聞いてくださいねと。積極的な授業評価で「先生の課題、分かりましたか」「話し方が分かりましたか」「褒めましたか」という評価があるので、それを使ってくださいねということをお願ひしております。

それから、3の授業については、放課後の時間が取れない取れないという話なので、5時間授業を2日間とる方向で来年変わっていくかもしれないです。ただ、余波としては、夏休みや冬休みに影響が出るのでこの辺りをどう考えていくかというような形になるかと思ひます。

あとは4番のその他というのは、町立の学校として依頼があったものは積極的に参加してくださいねということをお話しております。防火標語・習字、租税標語、福祉・人権標語・作文、芭蕉俳句等々、できるだけ子どもたちに声かけしてくださいねというふうにしております。

では、園経営について。幼稚園にはこのような指示を出しています。

冬休み直近の会議でした。経験の拡大をお願いしますと。例えばお掃除の手伝い、それからお餅、それから神社へのお参り。とにかく冬休み、幼稚園ではできないことをたくさんさせてくださいと。

それから、軽微な事故でもいいですから、何かあったら事故報告。子どものこと、先生のこと、どっちでもいいですから、すぐ連絡くださいと。

学習関係はあと3か月ですので、腰を据えて、5歳児は小学校に向けてやっていただきたいというようなことをお話ししております。それで、今の時点で4月に立てた目標の達成率はどのくらいですかと園長さんに聞きました。何%というふうに言うのは聞かなかったんですが、帰ったら先生方と話し合ってくださいと。

あと、課題があったと思うんですけども、その課題はどうか、クリアできたんですかということで、何%ぐらいできましたか、先生方で話し合ってくださいと。

それから、アプローチ・カリキュラムということで、5歳の子どもたち、小学校をぜひ訪問してくださいねということで、授業を見せたり、トイレを見せたり、下駄箱を見せたり、学校の雰囲気を感じてすんなり入れるようにしておいてくださいと。行くときには教育委員会に電話していただくとうれしいと。私たちも知っているし、すんなり行けるように配慮しますよということ。

それから、5歳児だけではないんだけど、小学校に行く準備をお願いしますと。小学校に入ると義務教育になっちゃうので負荷がかかるんですね。好むとも好まざるともかかわらず、例えば「教科書を開いてください」と言ったら教科書を開いてもらわないと困るわけです。「鉛筆を持ってください」と言ったら鉛筆を持ってもらわないと困るので、そういうような訓練を少しずつ幼稚園のほうでやってくださいと。話を聞く、指示どおり動く、あと小学校への高揚というんですか、気持ち、そういうものをお願いしますと。

最後は、あと保護者からいろいろな評価を取ります。そうすると、反省病ということで反省だらけして、何か悪かったことばかり反省して滅入ってしまわないようにねと。それから極端病、みんなが言っていますというのに動かさなれないでねと。「みんな」というと大体三、四人ぐらいいいかないですからねと。それを、行事をがらっと変えないでくださいと、よく検討してくださいとねというふうなことを伝えています。

私からは以上でございます。

〔金津主査〕ありがとうございました。

それでは、教育長からの報告についてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

小澤委員

町内教頭会議の1の(2)のノートの重視、穴埋めプリントから脱却、安易なタブレット使用から脱却というところで、小中学校の子どもたちはほとんどはスマホを使っている可能性があると思ってるんですけども、授業の間はスマホは使わないということにしていると。このタブレット使用というのは、子どもたちが授業でどのようなことをしているのか。

内海教育長

携帯、スマホについては、学校に持ってきてはいけないとしています。

タブレットについては1人1台ということで数年前からあるんですね。今までノートで記述していたものがタブレットになったので、書く作業というのが少し減ったような気がするんですね。ですから、それだけ使って授業をするのではなくて、書きながら、必要に応じてタブレットを使う形でバランスを考えてくださいと。始めから終わりまでタブレットだけ使わないようにお願いしますねということ言っています。

それから、穴埋めプリントからの脱却というのは、特に社会科は年号を埋めていくだけではなくて、なぜその年にそういうことが起きたのかとか、考えさせてノートを取っていただくねということ。穴埋めは楽で、時間も早く済みます。教師にとっては楽なだけども、子どもたちが理解したかという話になると分かっていない。だから、よく考えさせてやってくださいとねということ。

以上です。

小澤委員

考えさせる、歴史の穴埋めの話があったのでちょっと思いつきなんですけれども、教育長は教育勅語とか、そういうものを強制的に覚えさせられた世代ではないですよね。

内海教育長

私は教育勅語ではないです。私は道徳です。道徳が特設道徳という形で、その特設道徳というのが出たときではないんですけども、それからしばらく後になります。

小澤委員 教育勅語の原文を覚えさせられるんですね、子どもたち。それで、子どもたちというのはそういう記憶力が実はあるんだと思うんですね。記憶力があるというふうに完全に棒暗記でやることの価値というのを最近思っていて、実は私は天皇陛下を初代から125代まで言えるんですけども、それを覚えておくとか何々天皇の時とか、それがいつ頃のことか、そのときの時代背景とかにもつながってくるんですね。

棒暗記が意味を持つというのは、子どもたちのときには多分棒暗記が役に立たなくても、だんだん世の中とつながりが出てくると、それが面白くなることもあると思っていて、歴史の棒暗記もやれるときにやるというのは意味があると思います。

内海教育長 学級では例えば百人一首を、意味は分からなくてもリズムで結構覚えている子もいます。それから、詩や十二支、寿限無など覚えてすらすら言う子もいます。そういうのは役に立っているのかというと、後でああそういうことだったのねって思うんです。だから、丸暗記も必要なんだなというのは理解しています。

鈴木委員 おっしゃるとおり、私、英語を1ページくらい暗記したことがあって、不思議なもので何を言ったらいいだろうというときにふっと出てくることがあるんです。だから、英会話を暗記させるというのも悪くないなと思いました。

佐藤委員 私が暗記の授業も含めて覚えているのは掛け算九九で、結局何回も言って覚え込むのである意味暗記だなと思っています。

特に今の教育の中で求められているのは、なぜそうなるのか、どうしてそうなのかという理由づけだったり、そういうところを掘り下げて授業の中で組み込むことで、最終的には棒暗記だったり暗記するってなったとしても、そこに至るまでのいろいろ探究です。私が小中学校のときとの完璧な授業の違いですね。昔は先生が書いたものをただ写して、暗記するみたいな、友達と話し合うとか、なかったです。今はペアとかグループでの学び合いとか、協同的な学びと個別最適な学びというのが一つのキーワードになっていますので、確実に教師主導型の教え込む授業からの脱却というのを目指しているところです。

内海教育長 日本だと九九ですが、インドでは2桁同士のかけ算も子どもたち全部分かるという話です。鍛え方なんだと思うんですけども。

子どもの脳が軟らかいときはたくさん詰め込んでも大丈夫かもしれませんが、あまり子どもたちが疲弊しない程度にと思います。

(3) 令和5年第4回松島町議会定例会について

〔金津主査〕 続けさせていただきます。

(3) 令和5年第4回松島町議会定例会について、事務局から説明願います。

〔蜂谷課長〕 それでは初めに、一般会計補正予算につきましてですが、前回の教育委員会の中でご説明しました幼児教育費寄附金、こちらのほうは全てにおきまして承認いただきました。

続きまして、一般質問についてでございますが、今回の議会では9人の方から一般質問があったんですが、そのうち7人の議員から質問があったということで、かなりの件数を教育委員会のほうで所管したということになっております。

初めに、10ページ1-1になります。

米川議員からまちづくりや地域活性化の一環として図書館の設置を望むという通告があり、概要としましては、小中学校の図書館の状況並びに改善について、新たな図書館の設置、具体的には既存の勤労青少年ホームの図書室を残したまま、中央公民館の2階を図書室にしてはというような質問でございました。

回答といたしましては、小中学校の図書室については、活字の大切さを教えていながら各校の実情を踏まえて計画的に整備していくこと。中学校におきましては、生徒の下校時間に合わせた図書室の開会時間を検討することを回答しております。また、新たな図書館の設置につきましては、現在のところ検討していないということで、身近な図書館として内容の充実を図っていくということで回答しております。

続きまして、11ページ、2-2です。

櫻井議員からのベビーケアルームの利用状況と改善について通告がありまして、教育委員会関連としては、文化観光交流館トイレにおける紙おむつ持ち帰りについて質問がございました。回答といたしましては、文化観光交流館においては11月から多目的トイレと男女トイレにおむつスポット、いわゆるおむつ専用のごみ箱になりま

すが、これを設置しまして、お持ち帰りをしなくてもよい状況にしたことを回答しております。

続きまして、12ページをご覧くださいと思います。

3-1、中島議員からの中学校部活動の地域移行について通告があり、本町の進行状況等について質問がございました。

回答としましては、受皿となる団体の確保、指導者の確保、受益者負担の在り方など、課題は山積しておりますが、準備の整った部活動から地域移行を進めていく上での回答をしております。

次に、13ページになります。

4-1、櫻井靖議員から、町民と海外、外国人との交流を施局的に進めてはどうかという通告があり、教育委員会関連としては、①として、海外との交流を考えていることはあるか、②外国人研修生を増やし、ふれあいスポーツ大会や文化観光交流まつりへ参加させてはどうかという趣旨の質問がございました。

回答といたしましては、現在、第五小学校で実施している台湾との交流のような形で、英語を母国語とする国との交流を、第一小学校、第二小学校でも広げることが可能か、宮城県の国際政策課などとも相談しながら進めていく旨を回答しております。

また、各種行事への参加につきましては、実行委員会など主催する側や研修生の受け入れ先などとも相談しながら検討する旨を回答しております。

次に、14ページをご覧くださいと思います。

5-2、菅野議員からの田植・稲刈り体験の実施についての通告があり、教育委員会関連では、町外からの交流人口等も含めた、参加対象を広げた田植え・稲刈り体験の実施の考えはあるかという質問がございました。

回答としましては、人員体制や交通手段の確保、体験場所の選定等についても、JAや農業関係者の協力を今まで以上にもらわなくてはならないことから、農業体験の在り方も含め、検討が必要である旨を回答しております。

続きまして、15ページをご覧くださいと思います。

6-2、今野議員から指定避難所の防災強化、体育館にエアコンをという通告がありまして、教育委員会関連では、体育館の空調設備を充実するべきではないかという趣旨の質問がございました。

回答といたしましては、効率的な暖房を行うためには、補助事業の制度の立てつけ上、断熱性の確保の工事が必要となりますので、壁とか屋根とか、そういったものを断熱化する工事になります。こちらにつきましては、多額の整備費が必要となることに加えて、導入後の保守点検、電気代などのコストを踏まえると、早急な導入は難しく、慎重に検討していきたいという旨の回答をしております。

次に、最後、16ページをご覧くださいと思います。

9-2、小澤議員から、子どもたちと高齢者絵を取り巻く環境整備についてという通告がございまして、小学校の特別教室、勤労青少年ホームへのエアコン設置、運動公園のトイレの洋式化について質問がございました。

回答としましては、小中学校の教室におきましては、教室の活用状況を見ながら検討していくこと、勤労青少年ホームのエアコンにつきましては、現在設置してある部屋との併用をしながら、導入に向けて検討していくこと、運動公園トイレの洋式化につきましては、段階的に整備していく旨の回答をしております。

以上で、12月議会の関連の報告を終了させていただきます。

〔金津主査〕ありがとうございました。

ただいまの報告につきましてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

小澤委員

米川議員が図書館に注目されていますが、例えば八戸市、大河原町など、観光地のど真ん中に図書館を造られています。そういうふうな図書館も面白いなというふうに思っています。

それから、櫻井議員の「世界で最も美しい湾クラブ」ですけれども、外国人に響く松島のメッセージというのがどういうものなのか。恐らく、「日本三景」という表現は、国内では有名なんですけれども、海外ではあまりよく分かっていないんです。そういう意味では、世界のこの美しい湾クラブのほうが、世界との、海外との接触があるのかなと思うんですけれども、もっと訴える力があるのは、源氏物語だと感じています。今度、NHK大河ドラマで「光る君へ」というのが始まりますけれども、源氏物語、これは紫式部の話になりますけれども、伊勢物語で、当時1200年前から、日本で一番美しい景色が松島の島だという、そういうふうなことで、NHK大河ドラマが始まっています。大河ドラマを契機にして、松島の魅力というのを改めて観光都市をPRするのもよしですし、子どもたちへ松島の魅力といいますか、そういったものを理解することにつながることもいいと思いました。

蜂谷課長

今のところはないんですけれども、先ほど申し上げた、例えば第一小学校とか第二小学校の交

流の中で、いろいろな形での交流の仕方というのが生まれてくるのかなと思いますので、そういったものを進めていく中で、源氏物語の中での松島の位置づけとか、特色あるところで紹介していければ、なおさら松島に特化した英語教育ができていくのではないかなということでは考えております。

櫻井委員 10ページの図書室についての説明なんですけれども、勤労青少年ホームのところ、それぞれ利用状況というのはどのぐらいあるでしょうか。

赤間館長 すみません。今手元に数字がないので、また改めて説明したいと思います。

櫻井委員 学校図書室だと、どのくらい子どもたちは利用していますでしょうか。

岸班長 一小だと、6割から7割ぐらいの児童が、二小、五小はほぼ全員が毎日何かしらで図書室を利用しています。

中学校では、小学校ほどの利用はないんですけれども、四、五十人が昼休みに図書室を利用しているということで話は聞いております。

千葉教育次長 中学校では、下校前に図書室が開いていないので、毎日できるか分かりませんが、利用に向けて検討しているところです。

以上です。

5. 協議事項

(1) 令和6年1月定例会について

〔金津主査〕 続けさせていただきます。

では、5番、協議事項に移ります。

令和6年1月定例会につきまして、日程案として、1月26日金曜日午前9時30分から、こちら301会議室で予定しております。こちらの日程でよろしいでしょうか。

6. その他

〔金津主査〕 続きまして、6番、その他です。

その他で何かありますでしょうか。

〔櫻井委員〕 20日の日に中学校の授業参観で、1年生の授業を見せていただきまして、そのときに「WAVE-TIME発表会」ということで、子どもたちが勉強した内容の発表会だったんですけれども、それがすごくすばらしいなと思って、それをちょっとお伝えさせていただきたかったんです。

この松島まるごと学とか、小学校3年生からの経験があるからこそ、中学校1年生の子たちもできたと思うんですけれども、松島の今の現状、問題点と、これからどう改善していくか、それをメリット・デメリットも考えて松島町内で企画したらどうかという内容だったので、すごくすばしかったです。今後も続けていただけたらなと思います。

〔内海教育長〕 ありがとうございます。

いろいろな要素を加味して、例えば学力も少しずつ上がってきているし、町長とのタウンミーティングもやっぴりにアピールする仕方も分かってきているし、とても素敵なパワーポイントも作れるなど、少しずつ別な力もついているんだと思います。褒めていただきありがとうございます。校長に伝えます。

〔蜂谷課長〕 先ほどの図書室のデータに戻りまして、勤労青少年ホームの図書室の利用人数は、平均すると1日36、37人程度です。これは去年のデータなので、コロナが明けて若干増えているかなと思います。冊数で言うと1日に75冊借りられているという計算となります。

〔櫻井委員〕 ありがとうございました。

7. 閉会 午前10時35分

〔金津主査〕 閉会となりますので、閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者よりご挨拶をお願いいたします。

〔鈴木教育長職務代理者〕 いろいろとありがとうございました。ご苦労さまでございました。

今日は非常に寒かったですね。そして終業式ということで明日から冬休みに入り、始業式は1月9日ですね。

〔内海教育長〕 そうですね。17日間の休みとなります。

〔鈴木委員〕 17日間、子どもたち病気もしないで元気に過ごして、始業式を迎えていただきたいなと思います。

今日のいろいろな教育長のお話あるいは事業報告、大変すばらしいなと思って聞いておりました。

難しいなという意見もあるでしょうが、タウンミーティングのとてもいいお話を今日はお聞きしました。中学

校、高校でも町の長期総合計画を知ってもらい、それに対する意見を聞く場があってもいいのかなど。若い人たちの意見というのは極めて重要なので取り入れられるといいななんてちょっと思いながら聞いていました。

それから、教育長のご報告にありましたが、先生方、教師の姿勢って重要ですね。今日お話を伺って、町の事業への積極的な対応とか、先生方の生活態度も含めて、極めてこれは重要なんですよね。そこをしっかりとお話になられたのでこれはいいなと。教育長と先生方の直接接する場というのは、これは不可欠だなというふうに思っていたところでした。ぜひともこのままますます本町教育の在り方というのをどんどん展開して行って、いい形を生み出していただければいいかなど。来年もひとつよろしくをお願いします。

〔金津主査〕以上をもちまして、松島町教育委員会令和5年12月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和6年1月26日

委 員

委 員